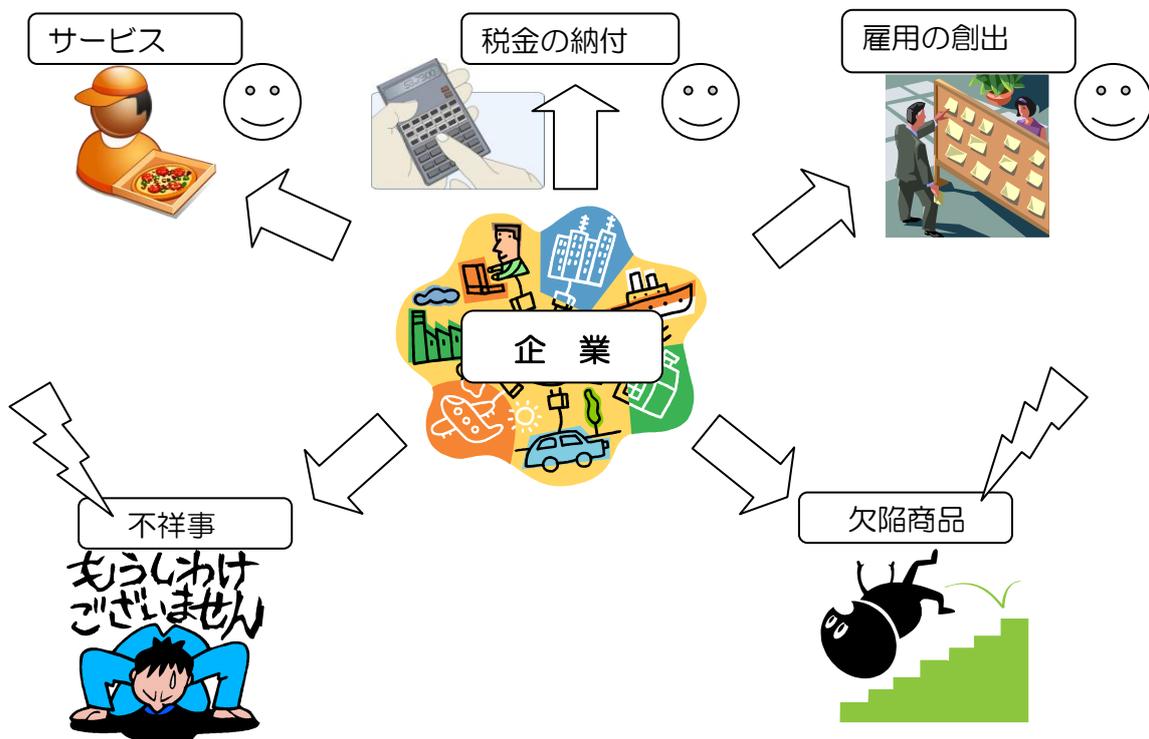


CSR って何だろう

～企業評価の新たな指標～

企業は、日々の活動を通じて商品やサービスの提供・雇用の創出・税金の納付などを通じての社会貢献を果たしてきました。しかし近年、様々な分野での法令違反や欠陥商品の発生など企業の不祥事が相次ぎ、企業に対して厳しい目が向けられるようになりました。そこで企業のあり方として、「CSR：Corporate Social Responsibility」（企業の社会的責任）という考え方が出てきました。



CSR の命題は、「企業は、企業活動に責任を持ち、消費者・従業員・株主・取引先・地域社会などの利害関係者（ステークホルダー）に対して適切な行動をせよ」というものです。そしてこのCSRに対する取り組みの度合いが、企業の新たな評価基準になってきています。

具体的な活動内容としては、「環境への配慮」「顧客への新たな価値の創造と提供」「法令遵守」「地域への貢献」「労働環境の整備」など、対象範囲がどんどん広がっています。つまり、これから企業には利益の追求だけではなく、「いかにして社会貢献をしているか」という姿勢が問われてくるのです。その要請に応えられない企業は社会的な信用は与えられず、投資家、株主の支持を得られずに企業の運営資金も確保できなくなります。企業の継続性のためにもCSRは努力目標ではなく、もはや存続要件となっているのです。